

# 【放牧・公共牧場】（高知県梼原町（一社）津野山畜産公社）

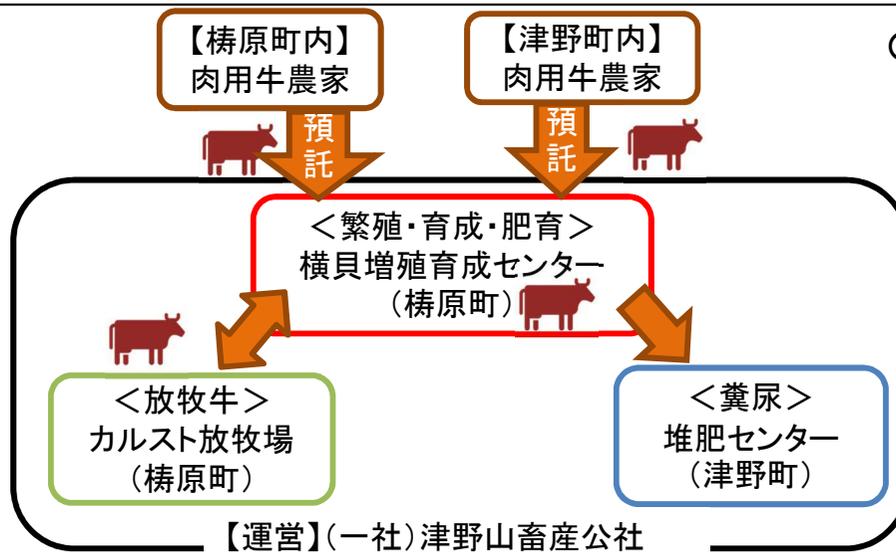
○昭和54年度に国営開発事業で四国カルストに開設した「カルスト放牧場」は、管理経営委託を受けた「津野山畜産公社(梼原町・津野町出資)」が約142haの夏期放牧預託牧場として約600頭(乳用牛500頭、肉用牛100頭)規模でスタート。40年以上が経過する中、現在は、地域の肉用牛生産を支える放牧場として最大130頭規模で運営。

○R4年7月現在では、約81haの放牧地で公社所有牛と農家預託牛を約90頭放牧。放牧場の畜舎で人工授精を行い、分娩前に順次退牧。放牧未経験牛、子付き牛、患畜は、畜舎及びその周辺の放牧草地で飼養管理。

○平成28年度に(一社)津野山畜産公社から津野町が脱退。事業中止となった津野町の堆肥センターやJA津野山の肉用牛繁殖センターの譲渡を受けた後、平成29年度畜産クラスター事業を活用して哺育・育成舎、分娩舎、繁殖牛舎、肥育牛舎を新設し、「横貝増殖育成センター」として飼養規模の拡大を行い、堆肥センターやカルスト放牧場と一元的に運営することで、地域内肉用牛一貫体制を確立。

## ＜カルスト放牧場の概要＞

【所有主体】(一社)津野山畜産公社  
 【管理主体】(一社)津野山畜産公社  
 【活用事業】国営草地開発事業  
 【開設年度】1974年  
 【草地面積】牧草放牧地142ha  
 【預託畜種】肉用牛(主に24月齢～)  
 【放牧期間】4月下旬～11月上旬  
 【預託期間】夏期  
 【受入頭数】130頭  
 【預託料金】放牧期880円令和5年から  
 (哺育440円)／頭・日  
 ※管外の場合は990円／頭・日  
 【労働力】2名程度



## ○肉用牛飼養頭数の推移（頭）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
高知県	5,092	5,318	5,832	5,986	6,070	6,239
梼原町	343	345	366	468	545	601
津野町	140	135	135	141	136	133



- 春夏は「カルスト放牧場」で放牧を行うことで、飼料コストを低減。
- 冬季や分娩期の「横貝増殖育成センター」での舎飼時においても愛媛県宇和町から稲WCSを購入(3千円/個)するなど、自給飼料を確保。
- 堆肥については、自場内堆肥舎及び堆肥センター(津野町)で処理。
- ほ育・育成、繁殖、放牧、肥育、堆肥処理など公社が一元的に運営することで、地域畜産の維持・拡大に貢献。



放牧中の褐毛和種(高知系)



開設当初から利用の木造牛舎



放牧牛と放牧草地(10月)



横貝増殖育成センター(繁殖牛舎)



横貝増殖育成センター(ほ育)